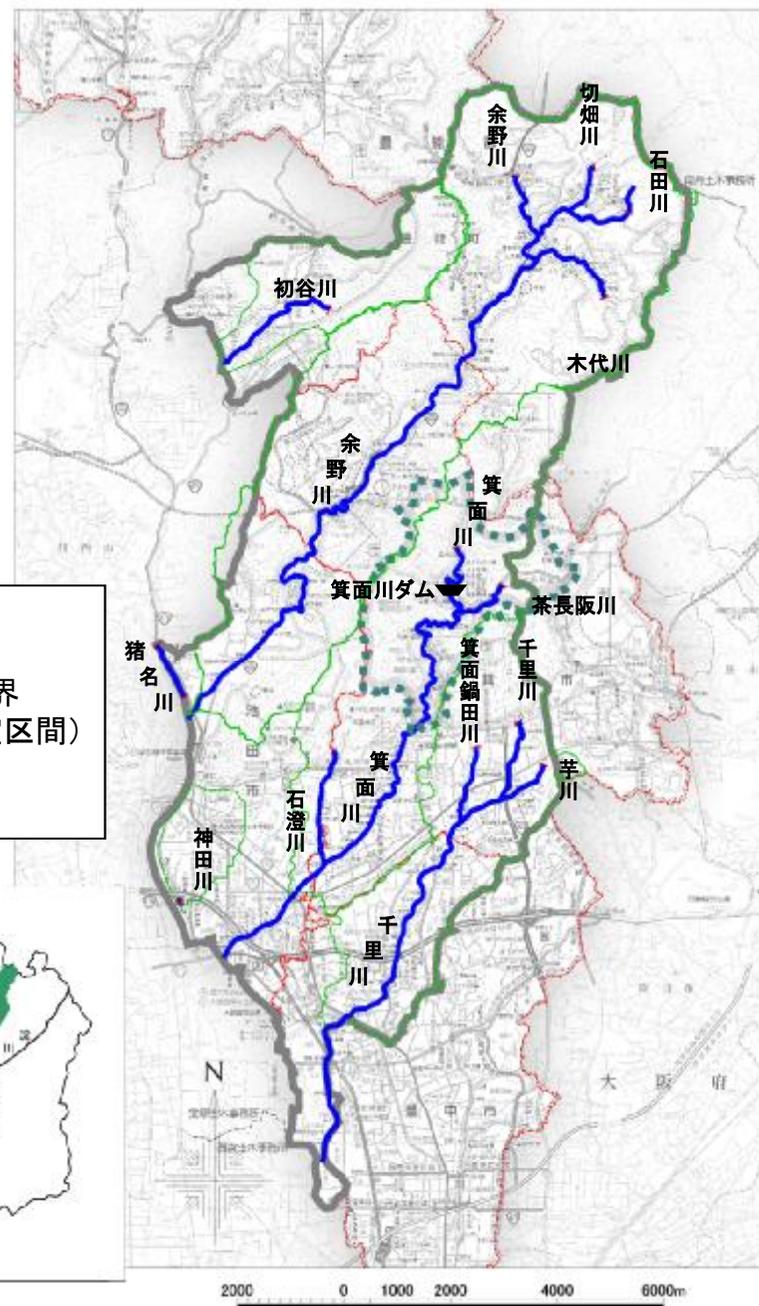
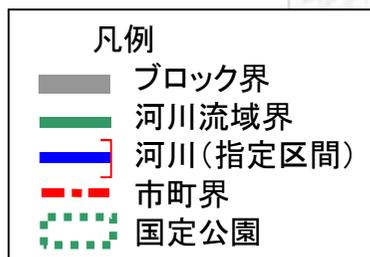

淀川水系 猪名川下流ブロックの 流域の概要について

1.猪名川下流ブロックの現状（(1)ブロックの概要）

猪名川下流ブロックは、北摂山地に源を発し、猪名川に合流する余野川、箕面川、千里川、神田川と一庫・大路次川に注ぐ初谷川の各流域から構成されます。
 大阪府が管理する河川は13河川で、管理区間(指定区間)の総延長は、54.155kmです。

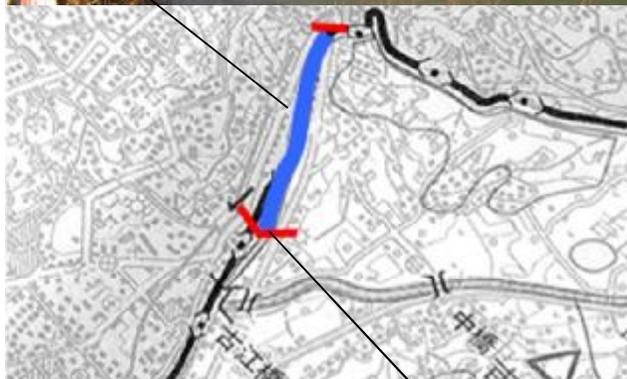
流域面積・指定区間延長

河川名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
猪名川	383.0	1.195
余野川	45.0	15.449
木代川	5.5	1.912
切畑川	4.5	1.990
石田川	1.6	1.586
箕面川	23.6	12.402
石澄川	2.8	2.258
茶長阪川	1.7	1.150
千里川	14.0	10.696
箕面鍋田川	1.8	1.589
芋川	2.0	1.083
初谷川	8.6	2.775
神田川	2.5	0.070
合計		54.155



1.猪名川下流ブロックの現状（(2)河川の概要：猪名川）

猪名川は、上流の兵庫県境から余野川が合流するまでの1.195kmが大阪府の指定区間となっており、国土交通省の直轄管理区間につながります。対岸の兵庫県側(右岸)は住宅地として開発されていますが、大阪府側(左岸)は田園地帯となっております。川幅は約200~80m、河床勾配は平均で約1/780です。



猪名川余野川合流上流
大阪府管理区間上端
(右岸は兵庫県管理)
これより上流は兵庫県

空中写真
(国)猪名川河川事務所



猪名川余野川合流付近
大阪府管理区間下端
(下流は直轄区間)

空中写真
(国)猪名川河川事務所

1.猪名川下流ブロックの現状（(2)河川の概要：余野川）

・余野川は豊能町の山地に源を発し、国道423号沿いに南西に流下して猪名川に合流する指定区間延長15.449kmの一級河川です。

下流部では河床勾配が約1/160～1/90、川幅は30m程度となっており、周辺は住宅が点在する田園風景が広がっています。

河道はコンクリートブロック護岸が整備され、河畔林や河道内の洲にはヨシやミゾソバ等の草本類が繁茂しています。

中流部では山間部を流れ、河床勾配が約1/90～1/30、川幅は15m程度となり、河床は岩が露頭する溪流景観となっています。

上流部では、河床勾配が約1/80～1/60、川幅は10m程度となり、田園地帯を流下する里地景観となっています。

余野川 城之越橋上流部



余野川 小泉橋上流部



余野川 金石橋上流部



余野川 大正橋上流部



余野川 砂子橋下流部



余野川 中河原橋上流部

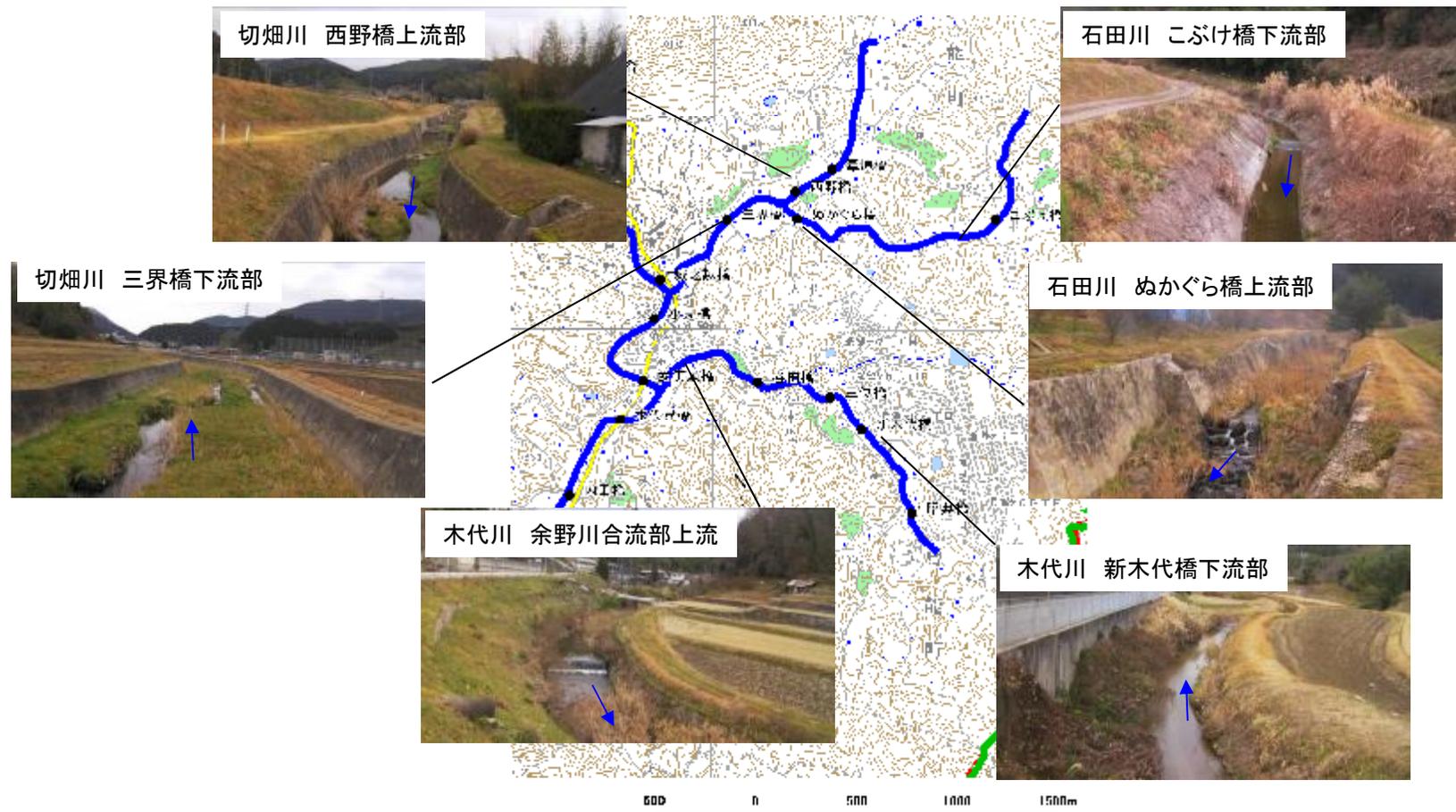


余野川 天狗橋下流部



1.猪名川下流ブロックの現状 (2)河川の概要：木代川、切畑川、石田川)

- ・木代川は余野川の左支川で、豊能町内を流れる指定区間延長1.912kmの一級河川です。周辺には田園風景が広がり、未改修河川で、川幅10m程度、河床勾配は約1/50～1/30と急勾配です。
- ・切畑川は余野川の左支川で、豊能町内を流れる指定区間延長1.990kmの一級河川です。圃場整備とともに河川改修が進められましたが、一部では未改修の状況です。川幅10m程度、河床勾配は約1/150～1/30と急勾配で、周辺には田園風景が広がっています。
- ・石田川は切畑川の左支川で、豊能町内を流れる指定区間延長1.586kmの一級河川です。切畑川同様、圃場整備とともに河川改修が進められましたが、一部では未改修の状況です。川幅7m程度、河床勾配は約1/30と急勾配で、周辺には田園風景が広がっています。



1.猪名川下流ブロックの現状 ((2)河川の概要：箕面川)

・箕面川は、豊能町高山地区の山地に源を発し、箕面市と池田市を貫流し猪名川に注ぐ指定区間延長12.402kmの一級河川です。

下流部では、河床勾配が約1/150～1/70、川幅は約25～15mとなっており、護岸沿いに住宅や工場が立ち並ぶ市街地を流れる区間では人工的な河川景観となっています。

また、国道176号より上流では、落差工や護床工が多くなります。

河道はコンクリートブロック護岸で整備されていますが、緑の多い河川景観となっています。

中上流部は国定公園に指定される自然の豊かな山間部となっており、河床勾配は1/100～1/15、川幅10m程度となっており、河床は露頭し小さな滝が連続する美しい溪流景観を作り出しています。

茶長阪川合流点上流に箕面川ダムがあります。

箕面川ダム



箕面川 もみじ橋上流部



箕面川 大門橋下流部



箕面川 中央橋上流部



箕面川 徳尾橋上流部



箕面川 今井橋上流部



箕面川 天神小橋下流部



1.猪名川下流ブロックの現状 ((2)河川の概要：石澄川、茶長阪川)

・石澄川は、箕面川の右支川で、池田市六箇山北方に源を発し、皿池・中池・尻池等を経て、池田市、箕面市を流れる指定区間延長2.258kmの一級河川です。川幅約10～5m、河床勾配は、約1/40～1/20と急勾配で、全面的に河床張コンクリートが設置されており、周辺は密集した市街地です。

・茶長阪川は、箕面川の左支川で、箕面川ダム下流の箕面川に合流する指定区間延長1.150kmの一級河川です。

川幅10m程度、河床勾配は約1/30～1/10と急勾配で、府道豊中亀岡線沿いの山間部を流れています。



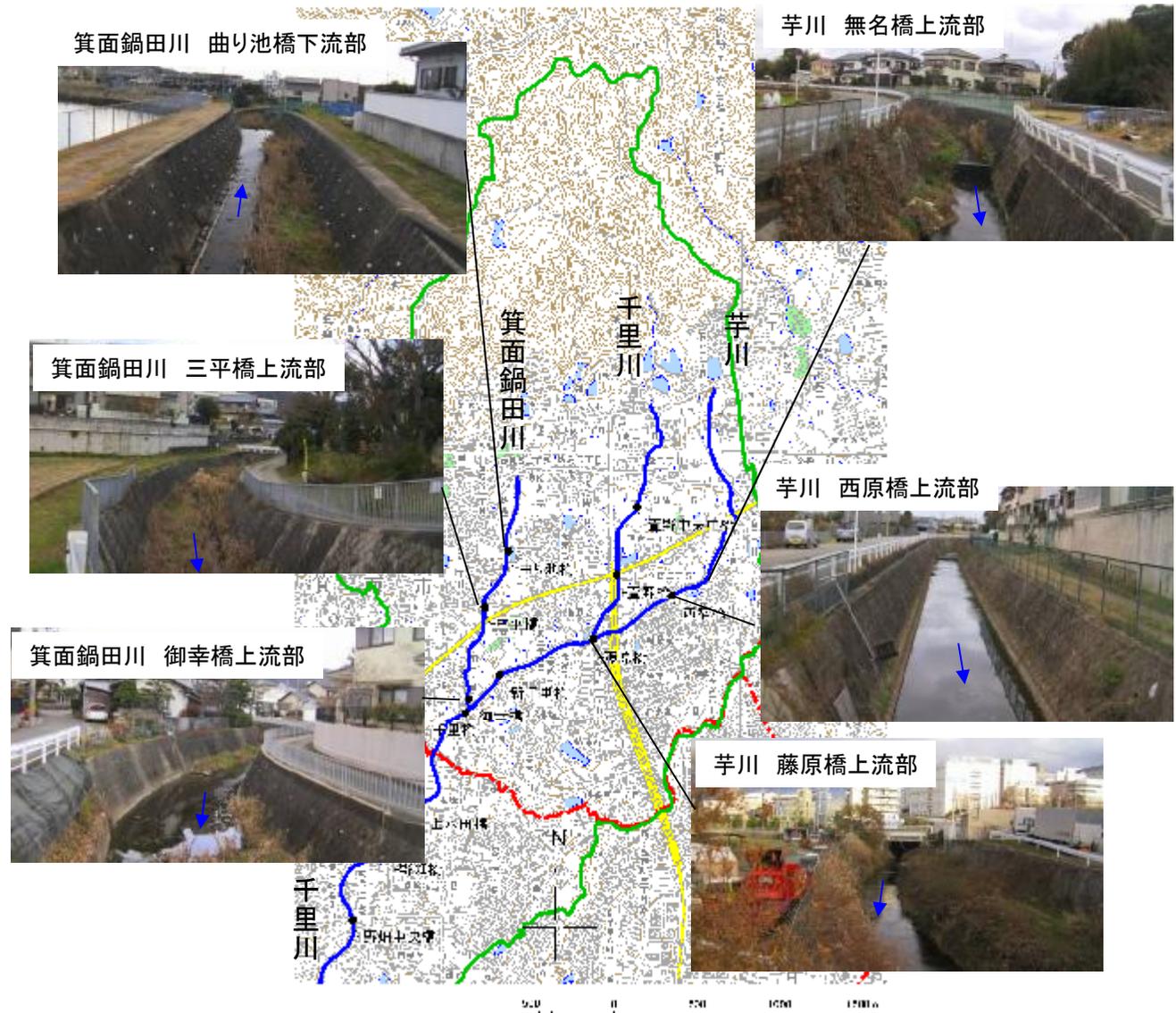
1.猪名川下流ブロックの現状 (2)河川の概要：箕面鍋田川、芋川

・箕面鍋田川は、千里川の右支川で、箕面市如意谷地区に源を発し、箕面市を流れる指定区間延長1.589kmの一級河川です。

川幅7m程度、河床勾配は約1/100~1/30で、下流部は市街地を流れますが、上流部には田園風景が周辺に残っています。

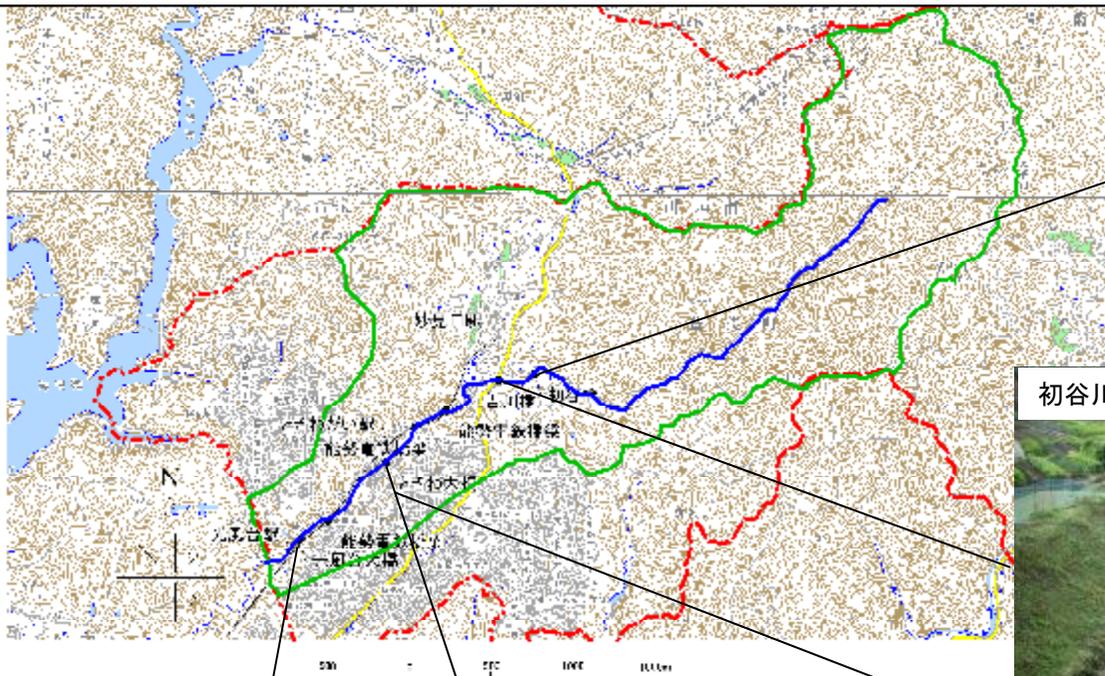
・芋川は、千里川の左支川で、箕面市石丸の打越池から流れ出し、箕面市を流れる指定区間延長1.083kmの一級河川です。

川幅7m程度、河床勾配は約1/100~1/60で河床張コンクリートが設置されています。丘陵地を流れ、川沿いには新興住宅地の中に残った農地が目立ちます。



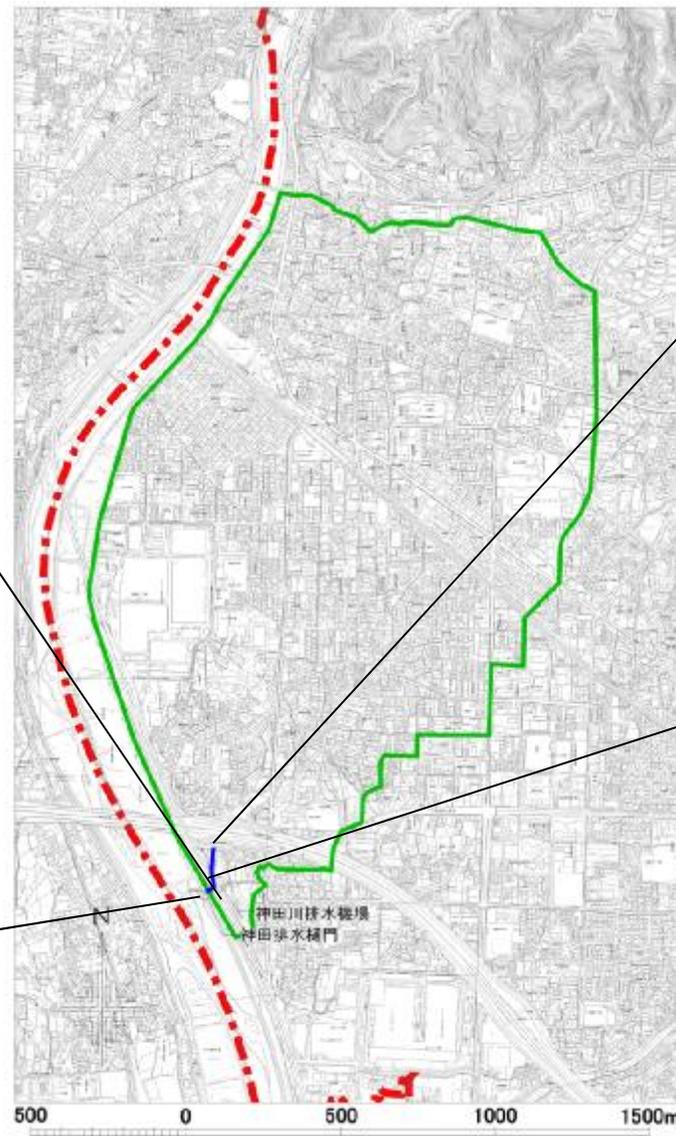
1.猪名川下流ブロックの現状（(2)河川の概要：初谷川）

- ・ 初谷川は妙見山につながる天台山、光明山を源とし、上流部は渓谷をなす指定区間延長2.775kmの一級河川です。川幅は10m程度で、河床勾配は約1/110～1/30です。
- ・ 下流部は豊能町ときわ台や光風台の住宅地を流れ、兵庫県境に至り、一庫・大路次川に合流します。初谷川渓谷は大阪みどりの百景に選出され、自然豊かな河川となっています。



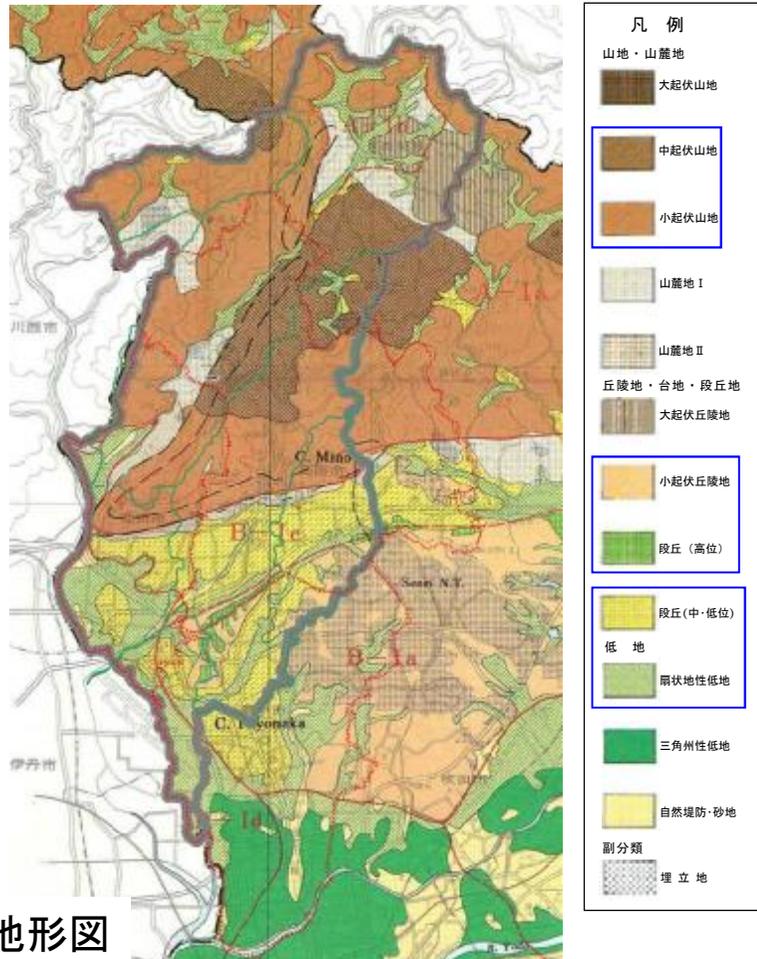
1.猪名川下流ブロックの現状 (2)河川の概要：初谷川、神田川)

- ・ 神田川は池田市内の雨水幹線を流域に持つ、指定区間延長0.070kmの一級河川です。
川幅は6m程度、河床勾配は1/100程度です。
下流には神田川排水機場、神田排水樋門(ともに国土交通省管理)が設置されています。

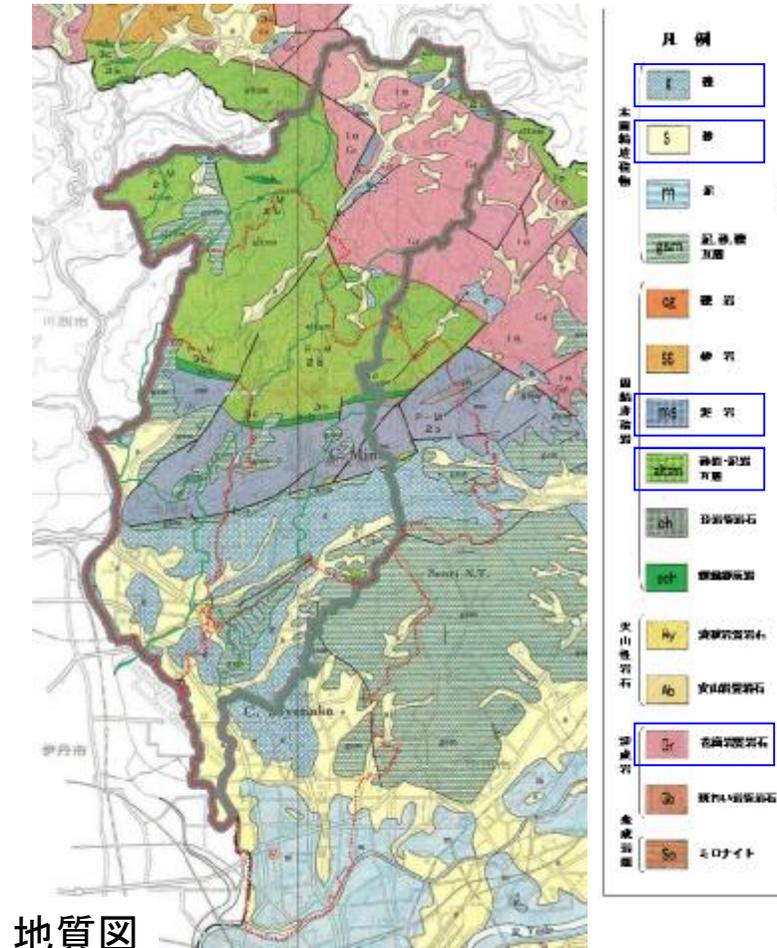


2.猪名川下流ブロックの特性（(1)地形・地質）

- 猪名川下流ブロックの地形は、北摂山地と北大阪丘陵地からなります。
ブロック北部は北摂山地が多くを占めています。ブロック南部は北大阪丘陵地の箕面丘陵、千里丘陵とそれらに挟まれた段丘地形が見られ、各河川の猪名川合流部は扇状地となっています。
- 地質は、山地部では主に六甲山陰型花崗岩類と、砂岩、泥岩から構成される丹波層群からなり、段丘地では礫、扇状地では砂で構成され、大阪層群の未固結堆積物となっています。



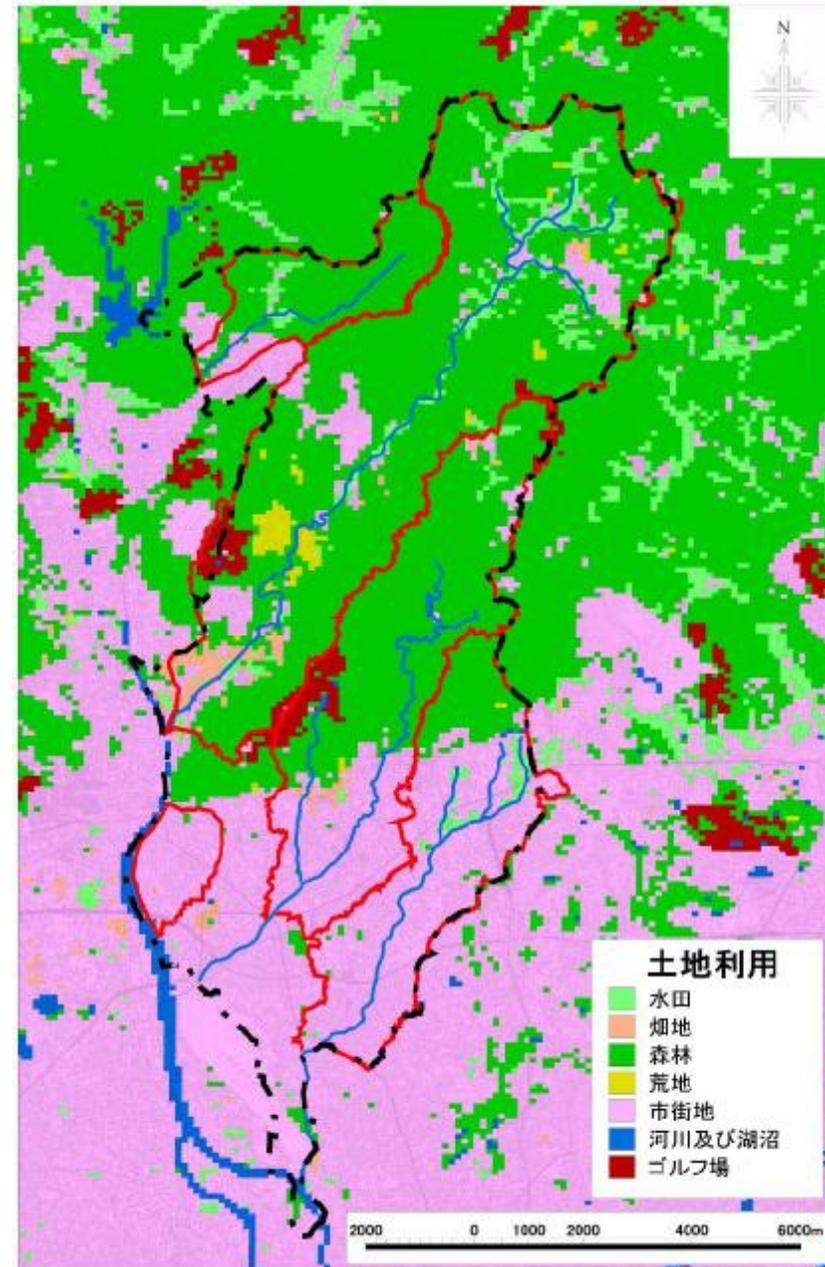
地形図



地質図

2.猪名川下流ブロックの特性（(2)土地利用）

・猪名川下流ブロックは、人口の増加とともに、低地、丘陵地さらに山麓周縁まで市街化され、山地が5割、市街地が4割、田畑が1割の構成となっています。

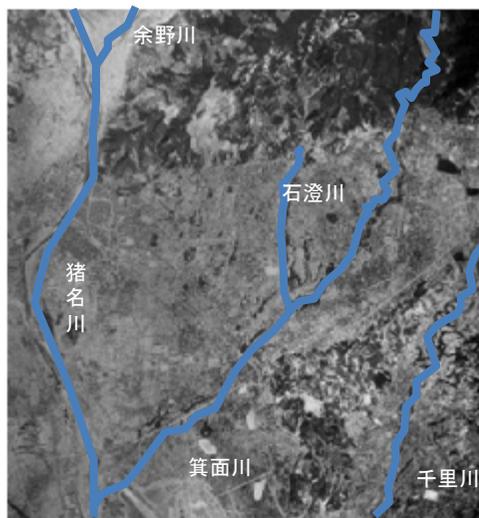


出典：国土数値情報 土地利用細分メッシュ 国土交通省(H21)

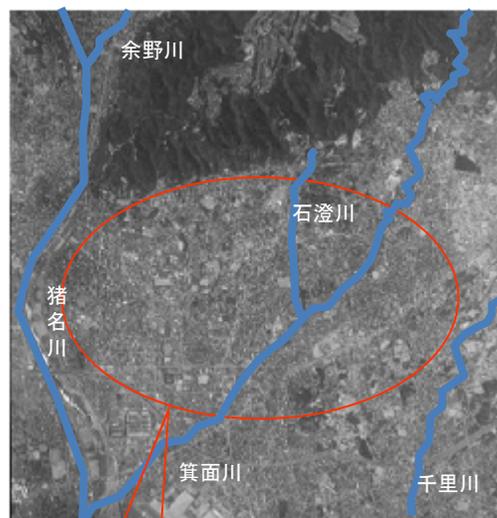
2.猪名川下流ブロックの特性（(2)土地利用）

・猪名川下流ブロック南部の丘陵地・低平地では昭和40年代までの高度成長期に急激に市街化されました。

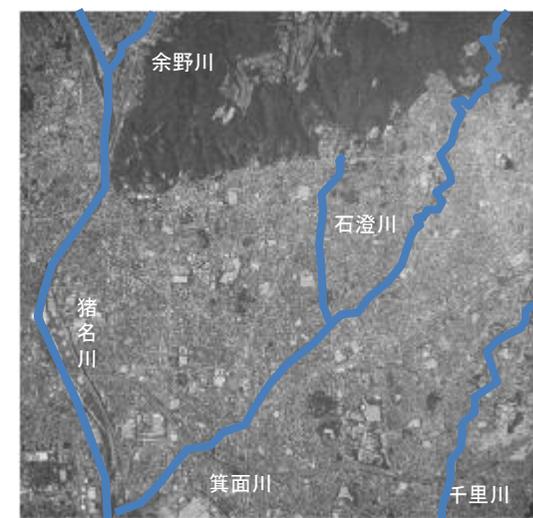
1947(昭和22年)



1980(昭和55年)



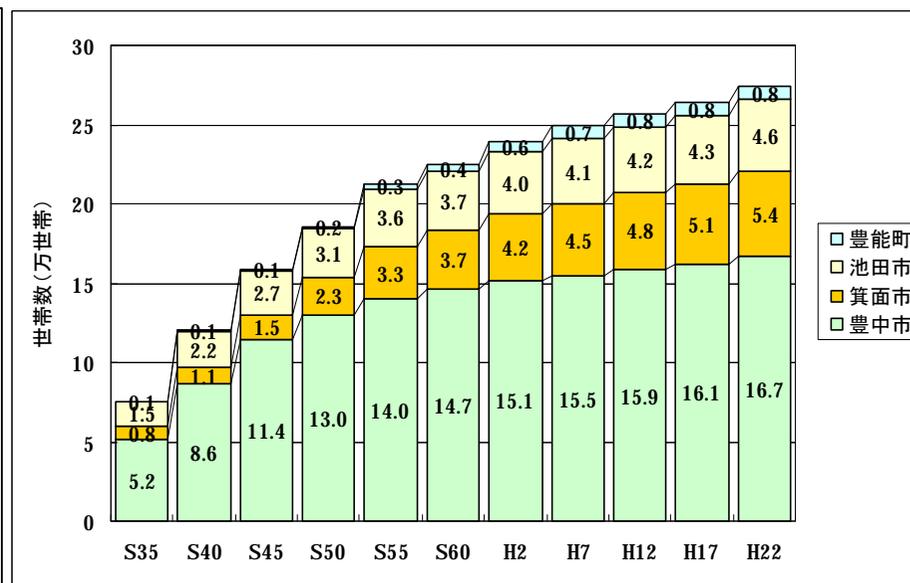
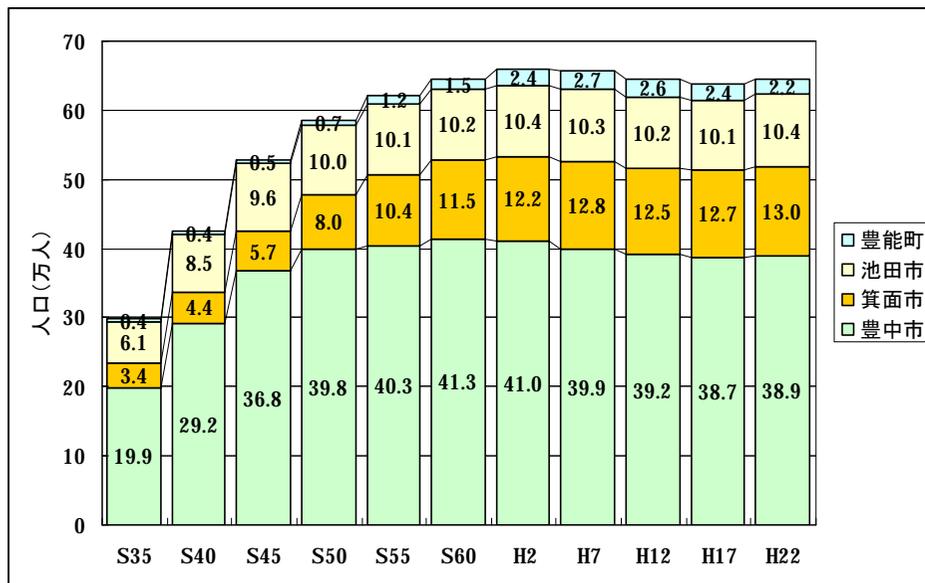
2004(平成16年)



丘陵地・低平地で
市街化が進む。

2.猪名川下流ブロックの特性（(3)社会特性（人口））

- ・流域各市町の人口（平成22年国勢調査）は、豊中市が389,341人、箕面市129,777人、池田市103,972人、豊能町21,989人となっています。
- ・豊中市と池田市の人口は昭和30年代から昭和50年頃に急増し、その後は横ばいから減少傾向に転じています。
- ・箕面市と豊能町は昭和30年代から平成年代初頭まで増加が続き、その後は横ばいから減少傾向に転じています。
- ・世帯数（平成22年国勢調査）は豊中市が166,859世帯、箕面市53,590世帯、池田市45,707世帯、豊能町7,874世帯となっています。流域全体では世帯数は増加傾向にあります。



※豊能町町制施行前（昭和50年以前）のデータは東能勢村（昭和52年に単独町制施行）

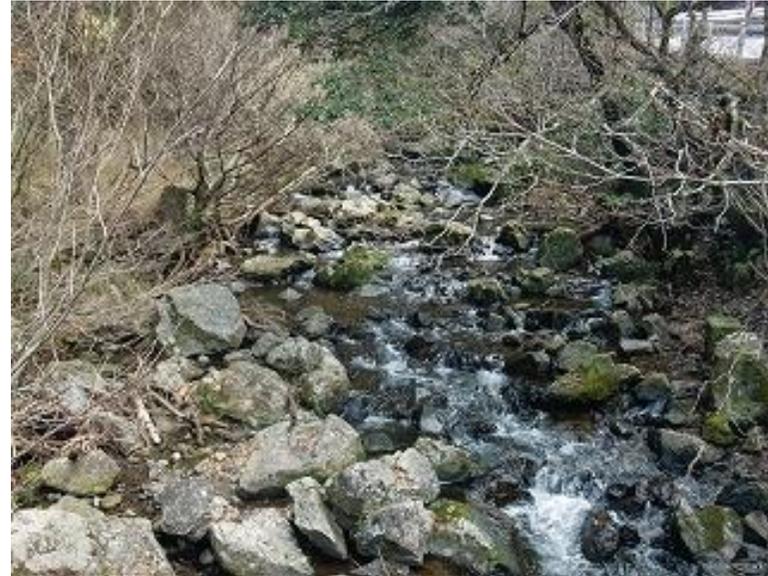
2.猪名川下流ブロックの特性（(4)社会特性（景勝地））

・猪名川下流ブロック中央の山地部は「明治の森箕面国定公園」に指定されています。箕面川流域周辺には箕面滝、箕面渓谷などの自然観光資源が分布し、アウトドアやハイキングを楽しむ場となっています。

・箕面市は平成18年12月、豊中市は平成19年7月に、景観法に基づく景観行政団体となり、良好な景観を損なう行為を制限する「景観計画」を策定する等、良好な景観を育むための先進的な取り組みを行っています。



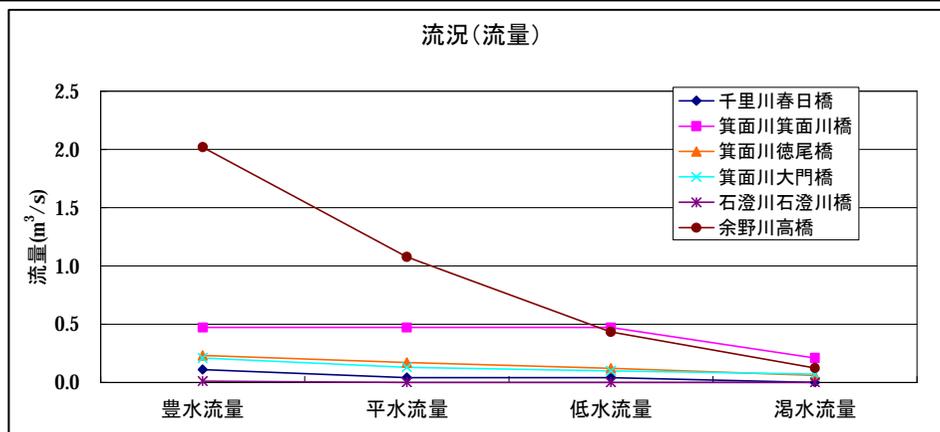
箕面滝



箕面渓谷

2.猪名川下流ブロックの特性（(5)水環境（水量・水質））

- ・平成24年の千里川（春日橋）の低水流量は0.04 m³/s、箕面川（箕面川橋）の濁水流量は0.21m³/s、低水流量は0.47 m³/s、余野川（高橋）の平均濁水流量は0.12 m³/s、平均低水流量は0.43 m³/sとなっています。
- ・箕面川ダムには、河川の機能、環境など流水の正常な機能の維持を図るため、30万m³の不特定利水容量が確保されています。

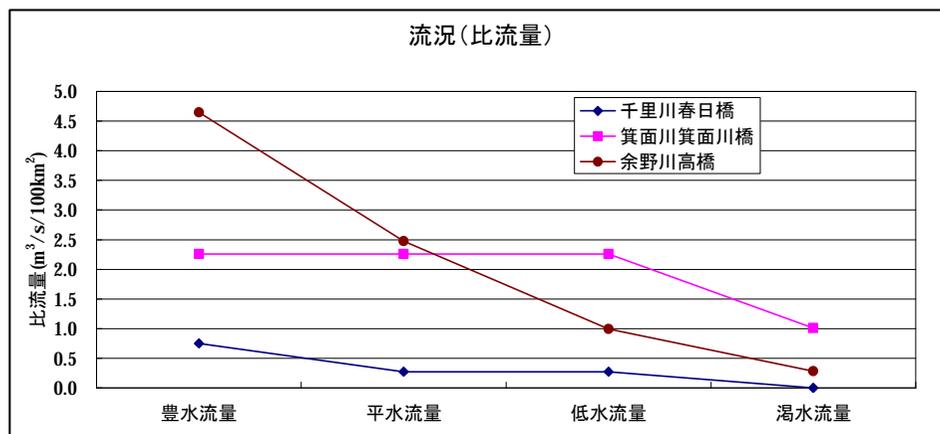


単位: m³/s

地点	豊水流量	平水流量	低水流量	濁水流量
千里川春日橋	0.11	0.04	0.04	0.00
箕面川箕面川橋	0.47	0.47	0.47	0.21
箕面川徳尾橋	0.23	0.17	0.12	0.06
箕面川大門橋	0.21	0.13	0.10	0.07
石澄川石澄川橋	0.01	0.00	0.00	0.00
余野川高橋	2.02	1.08	0.43	0.12

資料: 箕面川、石澄川、千里川: 平成24年流量観測資料より

: 余野川: 猪名川下流ブロック河川整備計画検討委託報告書(H22)報告書より昭和48年～平成12年の平均値

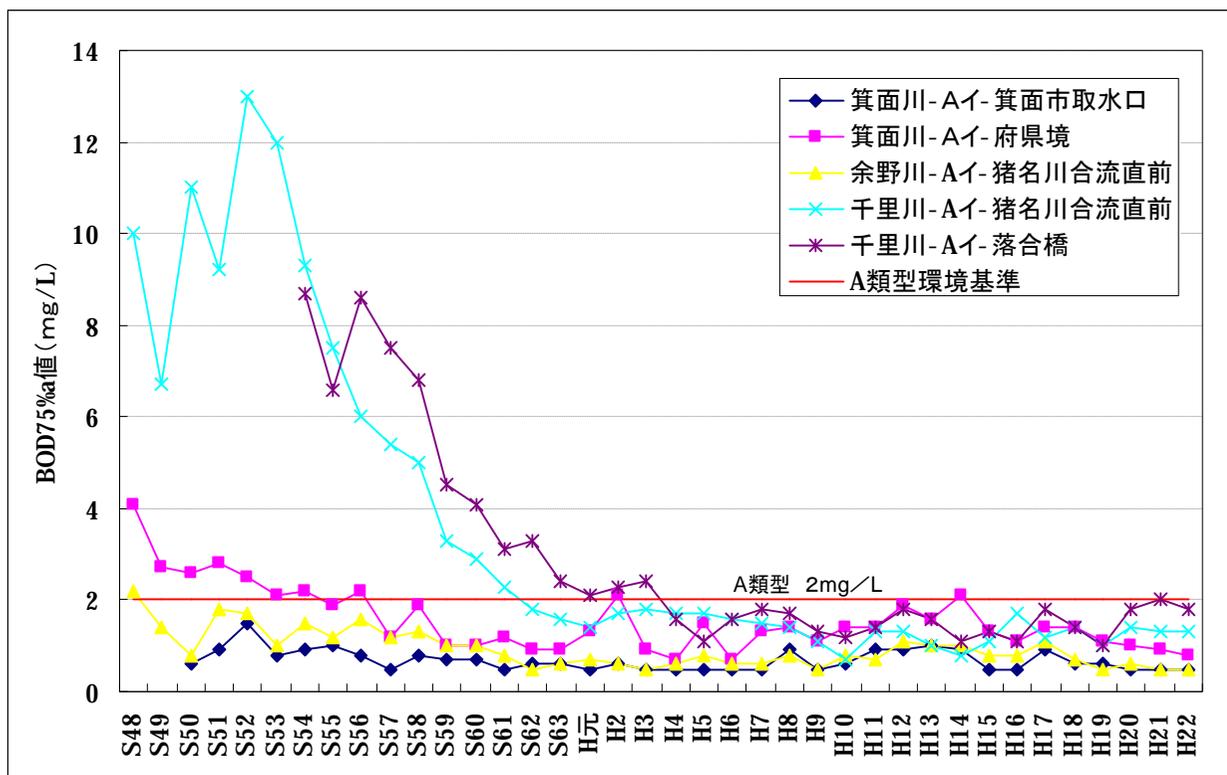


資料: 箕面川、千里川: 平成24年流量観測資料より

: 余野川: 猪名川下流ブロック河川整備計画検討委託報告書(H22)報告書より昭和48年～平成12年の平均値

2.猪名川下流ブロックの特性（(5)水環境（水量・水質））

- ・猪名川下流ブロックの河川の環境基準点は全てA類型（BOD75%値 2.0mg/L以下）に指定されています。
- ・BOD75%値は近年では環境基準を全ての地点で達成しています。



出典：大阪府公共用水域等環境データベースシステム

BOD(Biochemical Oxygen Demand 生物化学的酸素要求量)

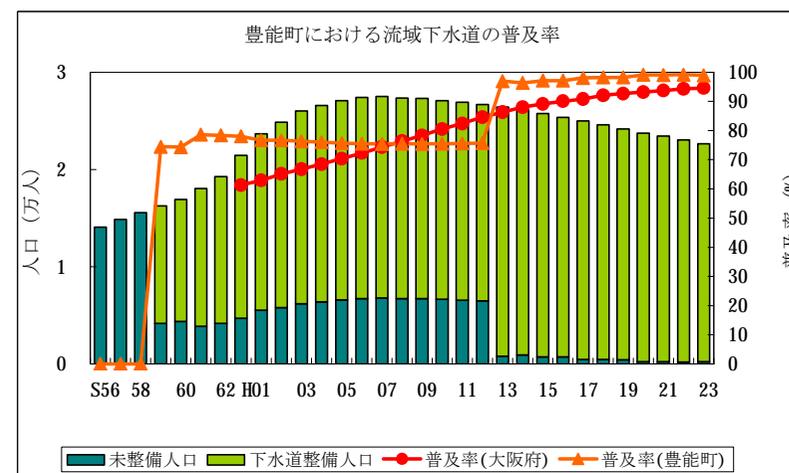
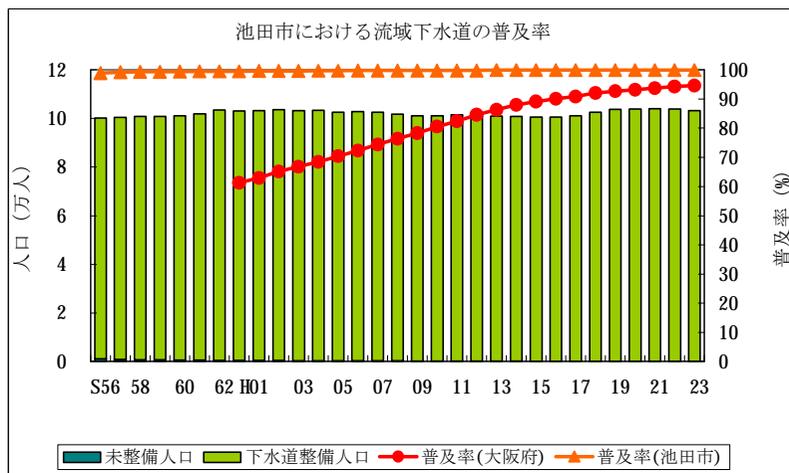
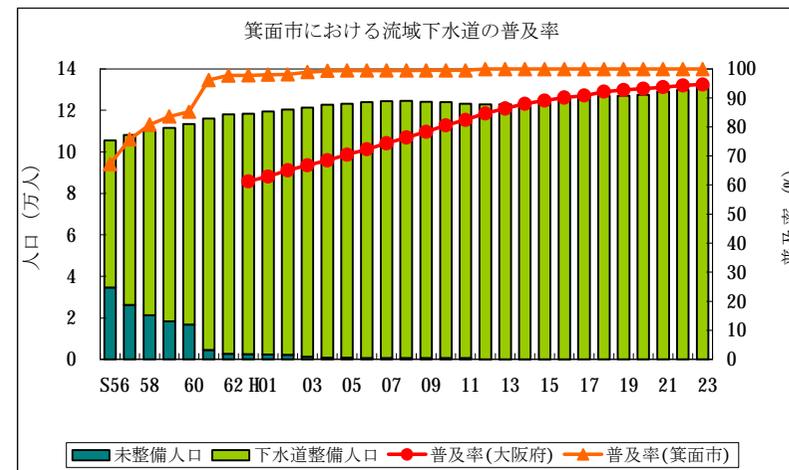
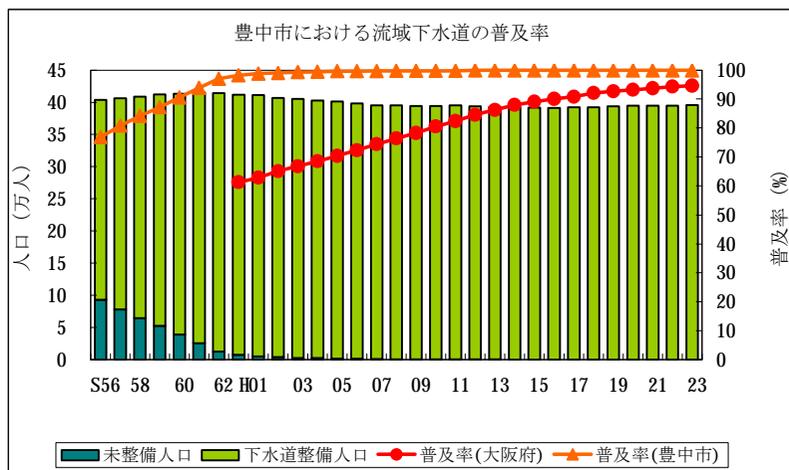
河川等の水の有機汚濁の度合いを示す指標で、水中の有機物質が好気性微生物によって分解される時に必要とされる酸素量から求める。75%値とは、年間観測データの値を小さいほうから並べて上位から75%パーセント目の数値であり環境基準への適合性の判断に用いられる。



2.猪名川下流ブロックの特性（(6)水環境（下水道整備））

(5)水環境(下水道整備)

・公共下水道は昭和50年台までに急激に進められ、現在の下水道普及率は、平成23年度末において豊能町が98.9%、池田市、箕面市、豊中市は99.9%に達しています。3市1町合わせての行政人口は653,369人、整備人口は652,930人となっています。



※下水道普及率:下水道整備人口/行政人口

出典:大阪府「大阪府下水道統計」

2.猪名川下流ブロックの特性 ((7)水利用)

- ・許可水利権として、箕面川では上水道用水1箇所と灌漑用水1箇所、余野川では上水道用水1箇所と養魚用水1箇所の合計4箇所があります。
- ・慣行水利権として、余野川では4箇所、箕面川(石澄川含む)では7箇所、千里川(芋川含む)では14箇所農業用に取水されています。

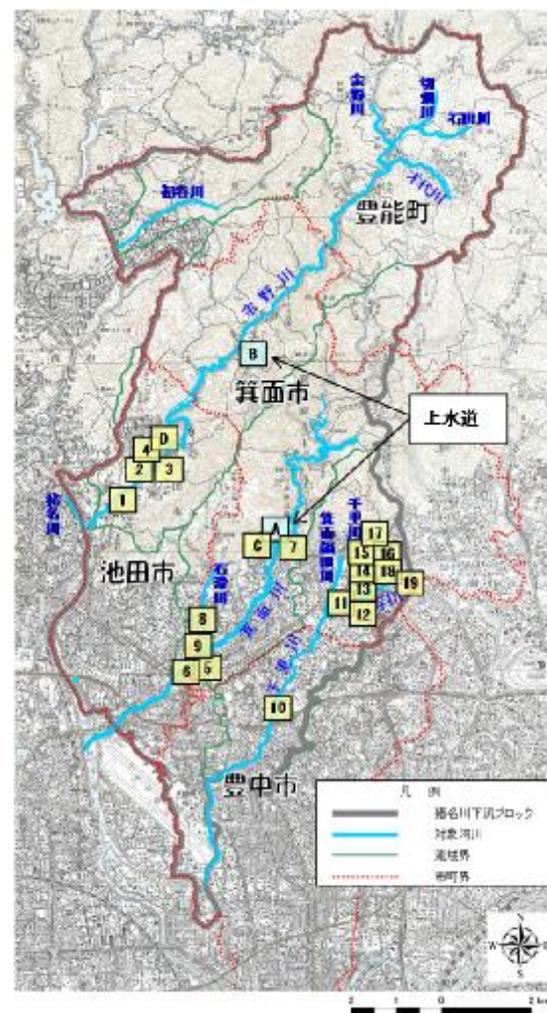
許可水利権

河川名	目的	占有者	許可取水量 m ³ /s	取水場所	灌漑面積 (ha)	給水人口
箕面川	A 上水道	箕面市長	0.0251	箕面市温泉町	-	5388
余野川	B 上水道	箕面市長	0.00266	箕面市下止々呂美	-	280
箕面川	C 灌漑用水	箕面四大字水利組合	0.0502	箕面市温泉町	7.6	-
	合計		0.07796			
余野川	D 養魚用	不死王閣(伏尾の鮎茶屋)	-			
合計			0.07796			

慣行水利権

-: 取水量の記載無し

河川名	No.	水利権名	取水量(m ³ /s)	受益面積(ha)	
余野川	1	木部井堰	-	15.5	
	2	古江井堰	-	12.1	
	3	東山井堰	-	10.0	
	4	吉田井堰	-	15.0	
	合計			52.5	
箕面川	5	今井井堰	-	60.0	
	6	森ヶ久保井堰	-	2.0	
	7	大井堰	-	50.0	
	石澄川	8	大溝井堰	-	4.0
		8	野田山井堰	-	4.0
	8	一之井井堰	-	4.0	
	9	井口堂井堰	-	5.0	
		合計			129.0
	千里川	10	落合樋	-	26.0
10		胴田樋	-	26.0	
10		水田樋	-	26.0	
10		蟬山樋	-	26.0	
11		下堂田井堰	-	0.3	
12		小谷口井堰	-	0.2	
13		上堂田井堰	-	0.4	
14		南川井堰	-	0.5	
15		木戸井堰	-	0.5	
16		味噌井堰	-	10.0	
17		ぐみ井堰	-	10.0	
芋川		18	常込井堰	-	1.3
		19	新衛門井堰	-	1.0
		19	溝ノ口井堰	-	9.0
		合計			137.1
合計					318.6



2.猪名川下流ブロックの特性（(8)河川空間利用）

- 箕面公園の中心を流れる箕面川には年間を通じて多くの利用者が訪れます。箕面川ダムおよびダム湖（「ゆうゆうレイク」と命名）は明治の森箕面国定公園に指定されており、ハイキングなどに利用されています。
- 箕面公園は、観光イベントが季節恒例で行なわれるなど、北摂地域を代表する自然豊かな観光地として広く利用されています。
- 平成20年に川床整備の検討会を箕面市と大阪府の共同で設置し、箕面川が公園全体の魅力アップを図り、箕面の観光振興、地域の活性化につながるよう検討を進めています。
- 猪名川下流ブロック内の河川では、親水公園等を利用した水遊びや、水生生物の採取や水質調査の体験学習を行う「水辺の学校」が行われています。



千里川水辺の学校



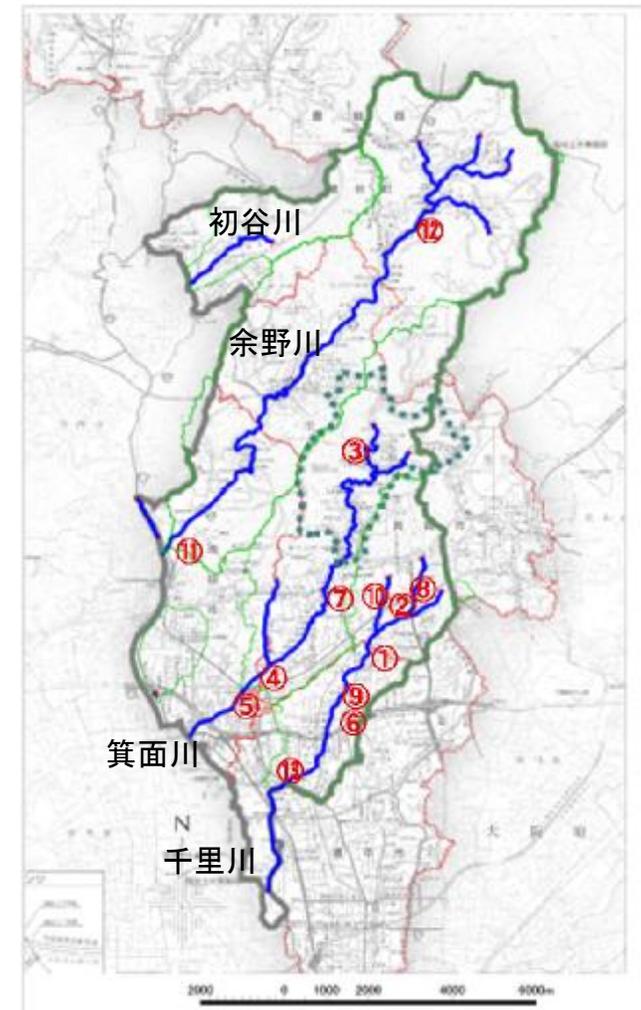
2.猪名川下流ブロックの特性（(9)アドプト・リバー・プログラム）

・猪名川下流ブロックでは、13件のアドプト・リバープログラムに登録されており、各団体により河川の清掃などが行われています。

	名称	河川名	実施場所	団体名
①	アドプト・リバー・みのお千里川	千里川	箕面市	箕面市立第五中学校
②	アドプト・リバー・かやの中央	千里川	箕面市	かやの中央まち育て交流会
③	アドプト・リバー・箕面川ダム	箕面川	箕面市	大阪府河川ボランティア (支援ネットワーク21)
④	アドプト・リバー・みのお川	箕面川	箕面市	みのお川を美しくする会
⑤	アドプト・リバー・箕面川	箕面川	池田市	箕面川を美しくする里親の会
⑥	アドプト・リバー・少路	千里川	豊中市	少路評議委員会
⑦	アドプト・リバー・徳尾	箕面川	箕面市	Mino International Litter Fighters
⑧	アドプト・リバー・千里川美化協議会	千里川	箕面市	千里川美化協議会
⑨	アドプト・リバー・春日3丁目蛸堂	千里川	豊中市	春日3丁目蛸堂会
⑩	アドプト・リバー・ピバ! 箕面鍋田川	箕面鍋田川	箕面市	箕面鍋田川にホテルを呼びも どそう会
⑪	アドプト・リバー・余野川	余野川	池田市	細河コミュニティ推進協議会 (池田市公益活動法人)
⑫	アドプト・リバー・余野	余野川	豊能町	余野自治会
⑬	アドプト・リバー・千里園	千里川	豊中市	レインボー千里園



アドプト・リバー・かやの中央の活動状況(箕面都市開発㈱HPより)



3.治水事業の概要（1）浸水被害

・猪名川下流ブロックでは、これまで多くの水害が発生しています。特に昭和35年8月の台風16号による大雨（東能勢観測所で日雨量338mm、時間最大雨量52mmを観測）、昭和42年7月の梅雨前線による大雨（箕面観測所で日雨量266mm、時間最大雨量52mmを観測）では、広い範囲で浸水が発生し、人的・物的被害は甚大なものとなりました。

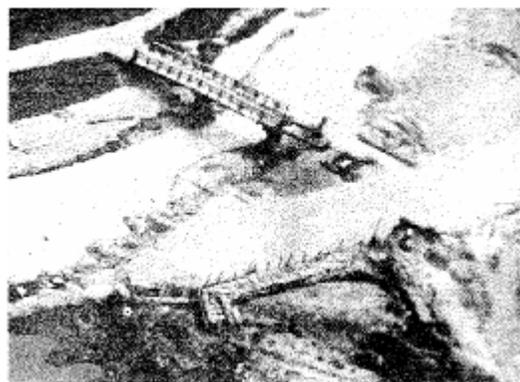
・近年では、平成6年9月（上池田観測所で時間最大雨量133.5mmを観測）、平成18年8月（豊中観測所で時間最大雨量103mmを観測）といった集中豪雨が 발생し、内水浸水被害が発生しました。



猪名川・久安寺川（現余野川）合流点付近
（昭和35年8月）



箕面川 桜ヶ丘付近
（昭和42年7月）



千里川 箕輪小橋付近
（昭和42年7月）



豊中市内
（平成18年8月）

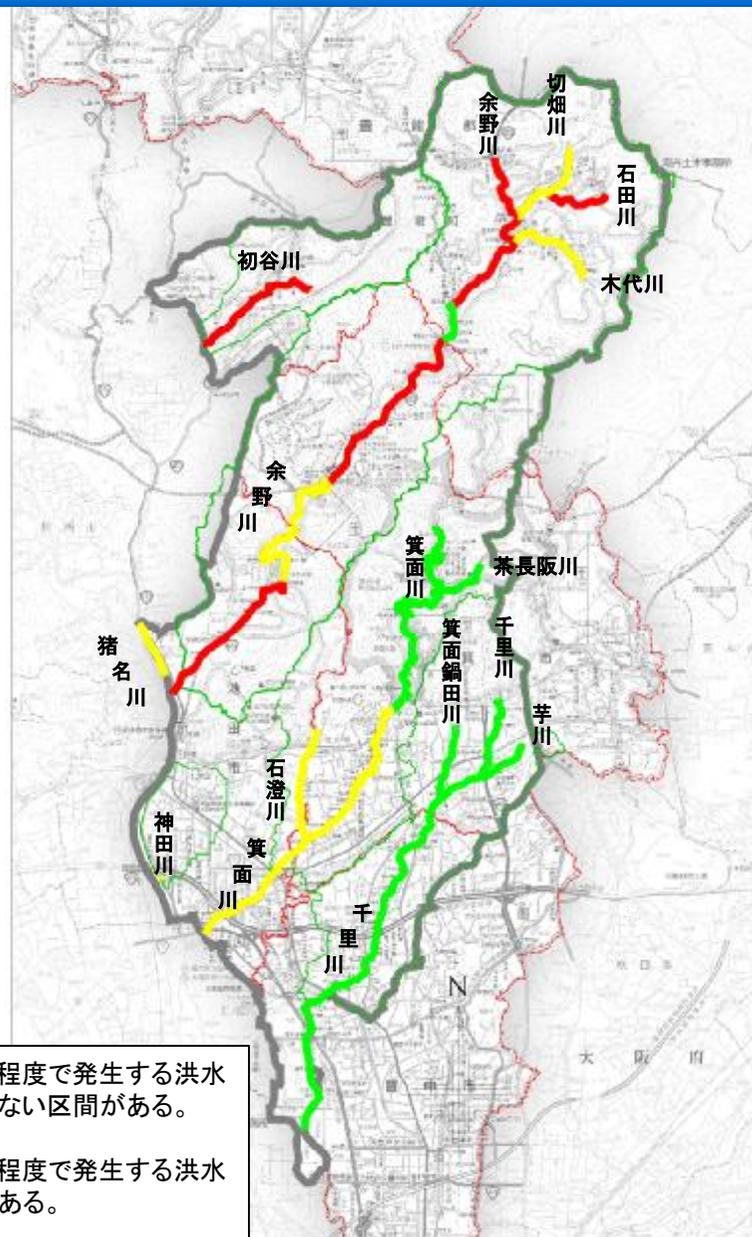


朝日新聞 夕刊
（平成6年9月7日）

3.治水事業の概要（(2)治水上の課題）

- ・猪名川下流ブロックの治水事業は、過去から実施されており、現在、千里川、箕面鍋田川、芋川、箕面川上流部、茶長阪川については、時間雨量80ミリ程度で発生する洪水を安全に流下することができます。
- ・猪名川、切畑川、木代川、箕面川中下流、石澄川では時間雨量50ミリ程度で発生する洪水を安全に流下することができます。
- ・一方、余野川、石田川、初谷川では、時間雨量50ミリ程度で発生する洪水を安全に流下することができない区間があります。

河川	区間	整備状況	備考
猪名川		50ミリ程度対応済	
余野川	下流端～番匠屋橋	50ミリ程度未対応	
	番匠屋橋～砂子橋	50ミリ程度対応済	
	砂子橋～市町界	50ミリ程度未対応	
	市町界～金石橋	80ミリ程度対応済	
木代川	金石橋～上流	50ミリ程度未対応	
		50ミリ程度対応済	
切畑川		50ミリ程度対応済	
石田川		50ミリ程度未対応	
箕面川	下流端～一の橋	50ミリ程度対応済	
	一の橋～上流端	80ミリ程度対応済	
石澄川		50ミリ程度対応済	
茶長阪川		80ミリ程度対応済	
千里川		80ミリ程度対応済	
箕面鍋田川		80ミリ程度対応済	
芋川		80ミリ程度対応済	
初田川		50ミリ程度未対応	
神田川		50ミリ程度対応済	



凡例

- 時間雨量50ミリ程度で発生する洪水に対して安全でない区間がある。
- 時間雨量50ミリ程度で発生する洪水に対して安全である。
- 時間雨量80ミリ程度で発生する洪水に対して安全である。

※50ミリ程度、80ミリ程度：豊能地区の確率雨量は、10年確率58.4ミリ、100年確率85.5ミリとなっています。

